

岸和田に巨大なお墓があるということ

山岡 邦章

岸和田には古墳時代前期に位置づけられる摩湯山古墳があります（図 1）。全長 200m 少しの大きな前方後円墳です。前期古墳としては和泉の地域では最大級の前方後円墳です。このような大きな古墳があるということは、単純に解釈してもそういったものが築かれる背景があり、基盤があったということで、和泉の地域でも岸和田は古墳時代に重要な場所であったと解釈することが、可能です。

そして岸和田には大きなお墓として、泉光寺の岡部家累代の墓があります（図 2）。江戸時代に築かれた大名の墓です。一見、なんのつながりもない突拍子もない話に見えますが、実はその本質は共通するものがあるのです。

古墳の価値というのは、これまでの研究の歴史があり、とてもわかりやすいものです。しかし大名墓となると、大きなお墓だなとか、高野山のようにな大きなのがたくさんあるということ以外はわかりにくいものです。しかし、古墳と基本は同じだと考えると、非常にわかりやすくなります。

意外かもしれませんが、日本の歴史の中で大きな墓に力を注ぐ行為に重きが置かれるのは、古墳時代と江戸時代だけなのです。例えば今話題の鎌倉殿、源頼朝の墓は鎌倉にあります。びっくりするくらい小さいです。室町時代の歴代将軍も然り、こういった権力者が墓に力を注ぐ時代ではなかったのです。

大きな墓の造営に力がそそがれた古墳時代と江戸時代。当時の価値観を端的に言えば「権力の示威



図 1. 摩湯山古墳（岸和田市摩湯町）



図 2. 岡部氏累代の墓（岸和田市門前町）

と継承の舞台装置」が大きな墓の本質であり、初代の墓を2代目が壮大に造り、権力を継承したことを内外に示す装置なのです。そうでなければあのような大きな墓は一人の人には必要ありません。

泉州でそれらが揃うのは岸和田だけという事実、岸和田が重要な場所であったという証拠でもあるわけです。

弥生時代後期、墳丘墓とよばれる大きなお墓からはじまり、古墳時代前期には、前方後円墳が登場し、巨大化します。その後、大きなお墓も造られますが、群集墳とよばれる中流階級の墓も造られます。そして人々が古墳というものに心血を注いだ時代である古墳時代は、薄葬令をもって終焉を迎えます。それから数百年を経て江戸時代の初め、各地を治めた大名は、その権力の継承を誇示するため、巨大な大名墓を造立します。そして造墓の風習は広く庶民にまで広がり、一般家庭でも家を中心とした造墓活動が行われます。しかし、価値観の変化や、嗜好の変化で最近では個人墓は無くなりつつあり、家の墓の継承も行われなくなってきました。日本の歴史全体の流れでみると、現在の状況は古墳時代の墓の隆盛と終焉に非常に似ているのです。

歴史は繰り返すといいますが、これは造墓活動という側面で日本の歴史に見えてくる事情です。まったく関係のない時代でも、その時の流行や価値観の形成により、人間の活動や思考は共通してくるといえる事例です。

(やまおか くにあき・岸和田市郷土文化課文化財担当長)

今年度も実施しています！きしわだ自然資料館オンライン出前授業

柏尾 翔

新型コロナウイルス感染症の拡大により学校に出向いての出前授業が実施できなかったこともあり、きしわだ自然資料館では2021年度よりWebを活用したオンライン出前授業を行っています。昨年度は、小中学校の校長会や自然資料館ホームページ等で告知を行い、ありがたいことに多くの学校から依頼を受けました。取り組みを始めた当初は、色々と試行錯誤しながらの実施だったのですが、移動を伴わずに児童・生徒と双方向のコミュニケーションがとれる、普段は持ち出すことができない収蔵資料や常設展示を見てもらえるなど、オンラインならではのメリットも多く感じられました。

現在は、対面での実施も徐々に戻りつつありますが、これからもオンラインによる出前授業は続けていきたいと考えています。ここでは、昨年度に実施した出前授業の概要を簡単に紹介したいと思います。

【打ち合わせ】

まずは、電話やメールで自然資料館に問い合わせることからはじまります。日程の調整がつけば、担当の学芸員とオンラインあるいは対面で打ち合わせを行い、実施する単元とその進捗状況、希望する内容などをふまえたうえで、授業のプログラムを決定します。ここまでは、対面で実施する場合と大きく変わらないのですが、実習を伴うオンライン授業の場合、画面上では各生徒の作業の進捗状況を把握しに



図1. 貸し出し教材の一例

くいため、当日の流れについてはより綿密に計画を立てる必要があります。また、このときには当日の準備物についても話し合っておきます。

【事前準備】

一部の準備物については、自然資料館から貸し出しを行っているものもあります。例えば、チリメンモンスター実習では、実習に必要な道具類はすべて無償で貸し出しています（図 1）。ほかにも、化石レプリカづくりで使うレプリカ型も貸し出していますが、石膏や塩、カップなどの消耗品は学校で用意していただく必要があります。貸し出す道具は、事前に自然資料館までとりに来ていただくのが基本です。また、当日使用するマイクやカメラの有無、学校で使える Web ミーティング用アプリケーションの種類などについては、打ち合わせ前に確認してください。接続方法については、多くの学校ではメインのパソコン（あるいはタブレット）の映像をプロジェクターでスクリーンに投影するか、電子黒板に出力していました（図 2）。また、Web ミーティングに使用するアプリケーションは Zoom が多いですが、Google Meet も対応は可能です。



図 2. オンライン出前授業のようす

【いよいよ本番】

授業前の休憩時間に、事前にお知らせしたミーティング ID などの情報をもとにミーティングへ参加しておきます。双方の声がいっぱい聞こえて、カメラも映っていれば準備完了です。これ以降は授業内容に応じて学芸員が講義を行います。昨年度は、チリメンモンスター実習や、化石のレプリカづくりといった定番授業のほか、自由研究の事前学習や植物の種子がテーマの講義など、内容は多岐にわたりました。また、実習中は限られた時間のなかでも、できる限り生徒からの質問に答える時間をとるようにしました。以下に実施した例の多い 2 つの実習について紹介します。

(1) チリメンモンスター実習

岸和田市が採用している啓林館の中学校理科の教科書にチリメンモンスター実習がとり上げられたこともあり、中学校 1 年生の理科「動物の特徴と分類」の事後学習として、この内容の依頼を多く受けました。実習は 50 分のプログラムで、ちりめんじゃこから混じりものをより分け、それらを「魚類（脊椎動物）」、「甲殻類（節足動物）」、「軟体動物」、「その他」に分類し、カードに貼り付けてもらいました。導入やまとめの際には学芸員がオンライン上で解説を行い、まじりものを拡大した映像や剥製を見てもらいました。

(2) 化石のレプリカづくり

小学校 5 年生理科「大地のつくりと変化」の関連学習として、90 分のプログラムで化石のレプリカづくりを体験してもらいました。その詳細な手順は、fromM 第 72 号で紹介していますが、今回は担当の先生にも実習の流れを知っておいってもらう方が良くと考え、事前打ち合わせの際に一連の実習を体験してもらうようにしました。授業当日は、当館アドバイザーが大阪の地層や化石につい

て話したあと、石膏を使ってレプリカづくりを行いました。オンラインでの実施に少し不安もありましたが、先生が手順を十分理解してくれていたこともあり、とくに問題が起きることもなく、児童たちは上手に作ることができていました。

オンラインによる出前授業は、移動の手間が省けるので経費や労力の低減にもつながるほか、授業の一部だけ話をしてほしいといった学校からの要望にも柔軟に応えることができます。今回紹介した内容以外でも、自然に関することならば、可能な限りご要望にお応えしたいと考えていますので、まずは気軽に自然資料館までお問い合わせください。

(かしお しょう きしわだ自然資料館学芸員)

Information

●自然資料館

企画展「ふみの日記念・郵便切手の生きものランド」

岸和田市内で活動する「岸和田郵趣会」との共催で、さまざまな動物の切手を展示するほか、切手の歴史、岸和田ゆかりの切手、岸和田の郵便局の風景印などを紹介します。身近なアート、切手の世界をお楽しみください。

会 期：2022年7月23日(土)～8月7日(日)

時 間：午前10時～午後5時

(入場は午後4時まで)

会期中の休館日：毎週月曜日

場 所：きしわだ自然資料館1階ホール(堺町)

入場料：無料(常設展は高校生以上200円)

●岸和田城の展示

岸和田城企画展「収蔵品展一岸和田の美術一」

岸和田にゆかりのある絵師の作品を、作品の様式や特徴によって区別される流派に焦点を当て展示します。流派の共通点や、同じ流派でも絵師ごとに持つ特徴などを紹介することで、より深く作品にふれる機会とします。

期 間：2022年9月25日(日)まで

開場時間：午前10時～午後5時

(入場は午後4時まで)

会 場：岸和田城天守閣2階展示室(岸城町)

入場料：大人300円、中学生以下無料

問い合わせ：岸和田市郷土文化課郷土史担当

(072-423-9689)

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5

きしわだ自然資料館

TEL:(072)423-8100

FAX:(072)423-8101

Email:sizen@city.kishiwada.osaka.jp

自然資料館ホームページ:

<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。